八王子市立第五小学校
主任教諭　上島 真一

プレ授業　３年生

【本時のねらい】

思考・判断

運動の行い方を知り、友達のよい動き見付け自分の運動に取り入れることができる。(3/4)

【 本時の展開 】

成果○　課題△　改善案

○学習の流れを確認する。【１分】

友達のよい動きをまねしてできる動きを増やそう！

→ 児童のよかった姿「ハイタッチをしてくれて嬉しかった」「友達のまねをしたら上手にできた」を紹介した。

○準備運動をする。【４分】
・ピヨピヨちゃん
・忍者手裏剣

雰囲気作りがよい。

○力試しの運動に取り組む。【１２分】
・『押し相撲』２対２
・『引き相撲』２対２→４対４

前時までに１対１で「腰を低くする」「足を前後に開く」などのコツを共有していたため、そういった姿が多く見られた。

○組み合わせの運動に取り組む。【２１分】

△やってみる（４分）
はじめの動き『跳びながら走る』

→ 教師がはじめの動き「跳びながら走る」を師範してから取り組ませた。

はじめの動きは師範せずに児童の動きの中から引き出す。児童の意欲や発想を大切にする。

○よい動きを共有する（３分）

→ はじめの動きの上手な子を見本としてコツを見付けさせる時間をとった。「手首を下の方にして回している」「リズムがトントン」などを共有した。

○△もう一度やってみる（１０分）
工夫して取り組む時間

→ 「前駆け足跳びをしながら、後ろ向きに進む」「あや跳びで駆け足」など、跳び方や方向を意識した工夫が多様に見られた。

取り組んでいる時間にコツを聞き出す言葉掛けをもっと積極的に行い、児童に意識させる。

○よかったタイム（４分）

→ 「交差駆け足」「後ろ交差駆け足」を教師が指名して取り上げた。

・児童が見付けたことを発表させるようにする。
・取り上げた跳び方をまねする時間を設ける。

○△片付け・整理運動・振り返り【７分】

友達のまねをしたことに特化して振り返らせた。記述を見ると「まねしたらできるようになった」「上手になった」など肯定的な意見が多い一方、まねができなかった児童にとっては、記述ができないこともあった。

→ 学習カードの文言をねらいに合わせて検討する。